

公益社団法人 日本材料学会
腐食防食部門委員会 第333 回例会（延期後開催）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため 2020 年 3 月 2 日の開催を延期しておりました第 333 回例会を、プログラムの一部を変更の上、オンライン方式で次のとおり開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

日 時： 2021 年 1 月 18 日（月）13:00～16:00

方 式： オンライン方式（Zoom ミーティング）

主題「銅および銅合金の腐食事例」

銅および銅合金は優れた加工性、伝熱性、導電性等を有することから、社会インフラや工業製品に幅広く用いられている。一方で、その腐食挙動は極めて複雑であり、曝される環境により様々な腐食形態となることが知られている。そのため、使用される製品や、その使用環境に応じた腐食挙動を把握し、適切な対策を講じることが必要である。本例会では、銅および銅合金の実環境での腐食について理解を深めるため、製品毎の腐食事例とその対策を講演頂く。

— プログラム —

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| Business Meeting | 13:00～13:15 |
| （司会 村田拓哉（株）UACJ） | |
| 1. 電車線用材料の種類とそこに用いられている銅系材料の耐食性評価 | 13:15～14:05 |
| 片山信一 三和テッキ（株） | |
| 2. 給湯器用銅管の腐食事例とその対策 | 14:05～14:55 |
| 河野浩三 NJT 銅管（株） | |
| 休 憩 | 14:55～15:10 |
| （司会 井上博之 大阪府立大学） | |
| 3. 黄銅系材料の腐食事例とその対策 | 15:10～16:00 |
| 芦江伸之 サンエツ金属（株） | |

（協賛予定）化学工学会，火力原子力発電技術協会，近畿化学協会，軽金属学会，資源・素材学会，ステンレス協会，電気化学会，日本化学会，日本機械学会，日本金属学会，日本建築学会，日本航空宇宙学会，日本高圧力技術協会，日本材料科学会，日本伸銅協会，日本鋳造工学会，日本鉄鋼協会，日本電子材料技術協会，日本銅学会，日本非破壊検査協会，日本分析化学会，日本表面真空学会，日本防錆技術協会，日本溶接協会，表面技術協会，腐食防食学会，溶接学会

腐食防食部門委員会委員以外の方は，参加費を戴きます。

日本材料学会・協賛学会会員：5,000 円，その他非会員：10,000 円

【申込先】〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1-101 公益社団法人 日本材料学会

TEL：075-761-5321，FAX：075-761-5325，E-mail：jimu@jsms.jp

第 333 回例会（延期後開催）参加申し込み要領

以下の期日までに参加者の(a)所属、(b)氏名および(c)メールアドレスを日本材料学会の事務局宛にメールで連絡下さい。メールの見出しおよび本文に、「腐食防食部門委員会第 333 回例会参加申し込み」と明記下さい。ご連絡いただいたメールアドレス宛に Zoom ミーティングの招待状を 1 月 13 日 (水)までに送信致します。

申し込み期限： 2021 年 1 月 8 日 (金) 正午 (厳守)

申し込み先： 日本材料学会事務局, Email: jimu@jsms.jp

オンライン開催におけるセキュリティー確保のため、期日までにお申し込みがない場合は、腐食防食部門委員会の法人委員および個人委員であっても本研究集会への参加をお断りします。ご理解・ご協力をお願い致します。なお、腐食防食部門委員会の法人委員は、代表者の所属企業内の 5 名の方に出席いただけます (5 名を超える場合は別途ご相談下さい)。代表者で、所属企業の出席者の氏名とメールアドレスをとりまとめていただき、一括で材料学会事務局にお申し込み下さい。

<注意事項>

- (1) 日本材料学会事務局に参加申し込みをした参加者（以下「申し込み者」）以外に、お送りする Zoom 招待状の内容を知らせないようにご注意ください。
- (2) 申し込み者以外の方が、申し込み者とともに同一施設や同一デバイスで例会内容を閲覧することを禁止します。
- (3) 本例会の静止画および動画の撮影ならびに音声の録音は一切禁止します。また、講演内容および質疑応答の部分および全体の無断での引用・転載を禁止します。
- (4) 本例会の参加に使用する機材および回線の準備・調整は申し込み者でおこなって下さい。当部門委員会では接続に関する技術的な支援は一切おこないません。また、機材および回線の不具合などにより正しく参加や視聴ができない場合の補償はいたしません。
- (5) 当日の質疑ではマイクやカメラの環境（いずれも PC 内蔵のもので可）が必要となります。必要に応じて、事前に Zoom の動作確認をした上でご参加ください。Zoom の事前テストは次の URL に接続することで行えます。(<http://zoom.us/test>)

以上